# ２０２２年度（令和４年度）事業報告

## １　事 業 概 要

わが国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況の中、６月までは持ち直しの動きがみられるとされ、７月以降は緩やかに持ち直しているとされた。

９月以降は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進み、ウィズコロナの下で、景気が持ち直していくことが期待されるとされた。（内閣府「月例経済報告」、日銀下関支店「山口県金融経済情勢」）

こうした中、新車販売台数は、新型コロナウイルス感染症の影響による部品供給不足等の影響により、国内全体では登録車が前年度比＋３２，１０５台、１．２％増の２，６９２，９６０台と３年振りに対前年を上回ったものの、わずかな回復にとどまった。一方、県内登録車の新車登録台数は前年度比▲４６８台、１．４％減の３３，７４５台と減少傾向から回復することができず、４年連続で４万台を割り込んだ。

このような情勢の中、一般財団法人として、引き続き円滑な事業運営に努めた。

①　組織・運営面では、一般財団法人として義務付けられた「公益目的支出計画」を的確に履行するとともに、番号標交付等の行政補完事業を確実に執行し、また、山口県の「自動車税申告書受付等窓口業務」を引き続き受託した。

番号標交付代行事業では、引き続き希望番号予約システムの円滑な運用に努めるとともに、図柄入りナンバープレートについては、引き続き関係機関・団体、関係自治体との連携を図り、円滑な交付に努め、また様々な手法により広報活動を展開した。

②　財政面では、増収要因となる希望番号標装着率の上昇や年度を通じての自動車税・軽自動車税の環境性能割の本来税率適用もあったが、新型コロナウイルス感染症の影響による新車新規登録数の落込みや減免対象車であるエコカーの増加、「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（ＯＳＳ）」利用の増加など厳しい収益環境となり、標板交付収益、印紙・証紙の売捌き手数料収益ともに大きく減少した。

結果的には、経費の減少もあり当期利益を確保することができ、当初計画額を超える公益目的支出計画事業を実施することができた。

また、当財団の運営面・財政面に影響を及ぼす「自動車関係諸税の見直しの状況」や「ＯＳＳの利用状況」、「地方版図柄入りの山口ナンバー・下関ナンバーの状況」等について関係機関や自動車関連団体から情報収集、実施状況の把握に努めた。

２０１３年度（平成２５年度）以降の新規登録台数

（単位　台数）

| 年　度 | 新　車 | 中古車 | 計 | 対前年度比 | 県内の自動車保有台数 | 左のうち登録車保有台数 | 登録車保有率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2022(令和４)年度 | 33,745 | 8,795 | 42,540 | 97.4 % | 1,068,492 | 540,665 | 50.6 % |
| 2021(令和３)年度 | 34,213 | 9,476 | 43,689 | 92.2 % | 1,067,930 | 542,885 | 50.8 % |
| 2020(令和２)年度 | 37,904 | 9,459 | 47,363 | 96.4 % | 1,070,234 | 544,819 | 50.9 % |
| 2019(令和元)年度 | 39,934 | 9,182 | 49,116 | 95.8 % | 1,070,319 | 545,768 | 51.0 % |
| 2018(平成30)年度 | 42,503 | 8,777 | 51,280 | 99.6 % | 1,074,100 | 547,555 | 51.0 % |
| 2017(平成29)年度 | 42,679 | 8,827 | 51,506 | 97.5 % | 1,074,235 | 547,635 | 51.0 % |
| 2016(平成28)年度 | 43,917 | 8,893 | 52,810 | 110.6 % | 1,073,607 | 546,897 | 50.9 % |
| 2015(平成27)年度 | 39,422 | 8,347 | 47,769 | 101.7 % | 1,072,407 | 544,383 | 50.8 % |
| 2014(平成26)年度 | 39,268 | 7,695 | 46,963 | 90.7 % | 1,072,519 | 550,654 | 51.3 % |
| 2013(平成25)年度 | 43,115 | 8,682 | 51,797 | 103.1 % | 1,067,889 | 550,655 | 51.6 % |

（中国運輸局山口運輸支局資料による）

## １．　実施事業（公益目的支出計画事業）

一般財団法人として当法人に義務付けられた「公益目的支出計画」（計画年数６９年）を実施した。当初計画では、収益の減少を見込んで計画３年目から公益目的支出額を大幅に縮小する予定であったが、同計画の進捗を図る観点から縮小幅を減じて事業を行った。

| 公益目的支出計画の実施期間 | 69 年 | |
|---|---|---|
| 完了予定事業年度の末日 | 令和64年3月31日 | |
| | 計　画 | 実　績 |
| 公益目的財産額 | 672,125,157 円 | 672,125,157 円 |
| 前年度末日の公益目的収支差額 | 94,717,710 円 | 129,778,651 円 |
| 当年度の公益目的支出の額 | 10,257,800 円 | 14,110,062 円 |
| 自動車登録番号標の封印取付け | 6,977,600 円 | 7,955,448 円 |
| 福祉関係団体等への寄附 | 1,815,100 円 | 3,787,307 円 |
| 交通安全の普及・啓発 | 1,465,100 円 | 2,367,307 円 |
| 当年度の実施事業収入の額 | 624,200 円 | 1,015,120 円 |
| 当年度末日の公益目的財産残額 | 567,773,847 円 | 529,251,564 円 |

### （１）自動車登録番号標の封印取付け

国から受託する封印取付け業務は、自動車登録制度において最終的に検査・登録を確定させる業務であることから、確実な執行に努めた。

件数は、前年度より１，０００件（４．３％）減少した。

（単位　件）

| 月 | 2022年(令和4年) 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2023年(令和5年) 1月 | 2月 | 3月 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 封印件数 | 2,053 | 1,705 | 1,979 | 1,779 | 1,754 | 1,792 | 1,749 | 1,722 | 1,762 | 1,504 | 1,820 | 2,493 | 22,112 |

（前年度 23,112件）

## （２）福祉関係団体等への寄附

社会福祉法人山口県社会福祉協議会と協議・連携の上、次表のとおり、福祉巡回車両の購入資金を寄附した。

| 寄　附　先 | 寄 附 金 額 |
|---|---|
| 山 口 市 社 会 福 祉 協 議 会 | 1,250,000 円 |
| 周 南 市 社 会 福 祉 協 議 会 | 1,250,000 円 |
| 合　計 | 2,500,000 円 |

※福祉巡回車両　寄贈累計　111台、　支援（寄附）金額　1億3864万4578円

## （３）交通安全の普及・啓発

番号標交付や自動車関係諸税の徴収に関わっている当財団の使命として、前年度と同様の事業を実施し、交通安全の普及・啓発に努めた。

①交通安全啓蒙グッズの配布

| 品　名 | 数　量 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| キャラクターミニ反射材 | 7,700 個 | 500,000 円 | 県内各警察署に作成配布 |

②ラジオスポット広報

| 広報媒体 | 回　数 | 内　容 | 年間広報費 |
|---|---|---|---|
| ＦＭ山口 | 週に２回 | 20秒スポット放送 | 500,000 円 |

③交通安全啓蒙活動支援

| 項　目 | 金　額 | 備　考 |
|---|---|---|
| 交通指導員支援 | 50,000 円 | 山口県交通指導員等連絡協議会に寄附 |
| 無事故･無違反コンテスト150協賛 | 20,000 円 | 無事故･無違反ｺﾝﾃｽﾄ150実行委員会事務局に寄附 |
| 交通事故被害者支援活動への支援 | 10,000 円 | (公社)山口被害者支援センターに寄附 |

# ２．　その他事業

## （１）行政補完事業

### ア．番号標交付・印紙証紙類の売捌き

番号標交付については、新型コロナウイルス感染症の影響による部品供給不足等の影響により、中古車を含む新規自動車登録台数が減少（前年度比▲１，１４９台　２．６％減）し、交付枚数は前年度に比べ２．５％の減少となり、番号標取扱額は対前年度０．３％の微減となった。

また、印紙証紙類の売捌きについては、新車の登録数の減少、減免対象車であるエコカーの増加、ＯＳＳ利用率の上昇といった減収要因により、印紙証紙類の売捌き全体では対前年度９１．１％と大幅な減少となった。

なお、手数料収益は、標板交付収益については、対前年度９９．０％と前年に比べ持ち直したが、印紙・証紙の売捌き手数料収益については、対前年度９１．６％と大きく減少した。

この結果、標板交付及び印紙証紙売捌きを合わせた手数料収益全体では、対前年度９６．１％の減少となった。

## 番号標交付実績　　130,389 枚　（対前年度比 97.5%）

（単位　枚）

| 年　度 | 大　板 | 大板(字光) | 大板(図柄) | 中　板 | 中板(字光) | 中板(図柄) | 小　板 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一連番号 | 1,503 | 22 | 2 | 70,439 | 215 | 192 | 2,983 | 75,356 |
| 希望番号 | 691 | 90 | 11 | 51,885 | 1,490 | 866 | ― | 55,033 |
| 2022年度計 | 2,194 | 112 | 13 | 122,324 | 1,705 | 1,058 | 2,983 | 130,389 |
| （対前年度比） | (87.2 %) | (99.1 %) | (108.3 %) | (97.4 %) | (104.2 %) | (135.6 %) | (97.5 %) | (97.5 %) |
| 2021年度 | 2,517 | 113 | 12 | 125,562 | 1,636 | 780 | 3,059 | 133,679 |
| 2020年度 | 2,843 | 104 | 22 | 135,221 | 1,755 | 1,006 | 2,910 | 143,861 |

## 番号標・印紙等の取扱額及び手数料

売捌き高　　5,976,643 千円　（対前年度比 91.3%）　（対予算比 105.3%）
手　数　料　　107,351 千円　（対前年度比 96.1%）　（対予算比 99.7%）

（単位　千円）

| 種　別 | 2022年度 | 2021年度 | 対前年度比 | 種　別 | 2022年度 | 2021年度 | 対前年度比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一連番号標板 | 61,093 | 63,567 | 96.1 % | 登録印紙 | 198,962 | 224,122 | 88.8 % |
| | 20,149 | 21,082 | 95.6 % | | 2,597 | 3,225 | 80.5 % |
| 希望番号標板 | 113,079 | 112,708 | 100.3 % | 審査証紙 | 104,497 | 86,236 | 121.2 % |
| | 44,462 | 44,502 | 99.9 % | | 1,427 | 1,385 | 103.0 % |
| 字光式器具 | 10,595 | 8,979 | 118.0 % | 県証紙 | 1,572,550 | 1,384,260 | 113.6 % |
| | 2,478 | 2,202 | 112.5 % | | 14,163 | 13,090 | 108.2 % |
| | | | | 重量税印紙 | 3,897,925 | 4,646,398 | 83.9 % |
| | | | | | 21,984 | 26,142 | 84.1 % |
| | | | | 収入印紙 | 17,942 | 17,038 | 105.3 % |
| | | | | | 91 | 105 | 86.4 % |
| 小　計 | 184,767 | 185,255 | 99.7 % | 小　計 | 5,791,876 | 6,358,055 | 91.1 % |
| | 67,089 | 67,786 | 99.0 % | | 40,261 | 43,948 | 91.6 % |
| | | | | 合　計 | 5,976,643 | 6,543,309 | 91.3 % |
| | | | | | 107,351 | 111,734 | 96.1 % |

上段：売上高
下段：手数料

イ．山口県「自動車税申告書受付等窓口業務」の受託

２０１２年(平成２４年)４月以降、山口県との契約に基づき自動車税申告書受付等の県税窓口業務の受託を継続しており、昨年度においても、的確で円滑な業務運営に努めた。

なお、現在の契約は、２０２２年(令和４年)９月に更新し、引き続き２０２４年(令和６年)９月末まで同業務を受託することとなっている。

ウ．自動車保有関係手続きのワンストップサービス（ＯＳＳ）制度への対応

ＯＳＳについて山口県では、登録車に関して、継続検査は２０１７年(平成２９年)９月から、新車新規登録等は２０１８年(平成３０年)１月から運用が開始され、軽自動車に関しては、継続検査は２０１９年(令和元年)５月から、新車新規検査は２０２３年(令和５年)１月から運用が開始されている。

ＯＳＳ利用率の動向は、当財団の収益への大きな影響が予想されることから、その進捗状況や影響を把握し適宜適切に対応するため、関係機関や自動車関連団体からの情報収集に努めた。

エ．図柄入りナンバープレート制度への対応

我が国初の図柄入りナンバープレートである「ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート」は、２０１７年(平成２９年)４月に交付開始され、当財団は交付代行者として、関係機関・関係団体との連携のもと円滑な交付に努め、ラグビーワールドカップ大会終了後、２０２０年(令和２年)１月に、交付を終了した。

また、２０１７年(平成２９年)１０月から交付開始となった「東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレート」も２０２１年(令和３年)１１月に交付を終了した。

また、２０１８年(平成３０年)４月から交付開始となった「地方版図柄入りナンバープレート（山口・下関)」、２０２２年(令和４年)４月から交付開始となった「新たな全国版図柄入りナンバープレート」、同年１０月から交付開始となった「大阪・関西万博特別仕様ナンバープレート」については、当財団の業務や収益への影響もあることから、関係機関・団体、関係自治体と連携を図り、情報の収集、提供等を行うとともに、各種の広報活動を展開しながら、的確で円滑な交付に努めた。

## （２）公益支援事業

一般財団法人移行時の当初計画では、計画３年目から大幅に公益事業を縮小する予定であった。

今後の厳しい運営が予想される中にあっても、昨年度は、当期利益が確保できる見込みであったことから、自動車関連業務を実施している一般財団法人としての役割を果たすため、自動車関係団体が行う公益事業への支援等は、前年度と同規模で実施した。

### 公益支援事業

（単位　千円）

| 項　　目 | 執行済額 |
|---|---|
| 一　般　寄　附 | |
| 各 団 体 公 益 事 業 支 援 | 5,600 |
| 特　別　寄　附 | |
| 山口県定期点検整備促進協議会 | 1,400 |
| そ　の　他 | 400 |
| 計 | 7,400 |

## （３）会館運営事業

自動車会館入居団体と連携し、円滑な会館運営と維持管理に努めた。また、今後の大規模修繕に備え３，０００千円を修繕引当預金として積み立てた。

### 会館修繕工事

（単位　千円）

| 年　　度 | 修　繕　費 | うち大規模修繕 | 修繕引当預金 |
|---|---|---|---|
| 2022(令和4)年度 | 336 | 0 | 51,000 |
| 2021(令和3)年度 | 98 | 0 | 48,000 |
| 2020(令和2)年度 | 1,846 | 1,840 | 45,000 |
| 2019(令和元)年度 | 594 | 0 | 42,000 |
| 2018(平成30)年度 | 412 | 0 | 39,000 |